

委員会行政視察報告

このたび常任委員会がそれぞれ管外行政視察を実施しましたので、その概要を報告します。

◎企画総務常任委員会

とき11月11日～13日

・兵庫県西宮市

「震災後の防災対策について」

平成7年1月、近畿地方に多大な被害をもたらした「阪神・淡路大震災」への対策、復興を通じて得た西宮市地域防災計画や情報伝達手段等の見直し、地域住民の自主防災活動などについて、当時から経緯を踏まえ説明いただいた。

今後の課題として、震災発生から15年が経過し、住民の移り変わりによる住民意識の低下と要援護者の増加による救助体制の整備が挙げられていた。



・愛媛県西条市

「地域防災コミュニティ事業等について」

災害に強いまちづくりを目指し、京都大学と協定を結んで地域防災施策の推進にあたって西条市の取り組みについて説明をいただいた。

特に自主防災組織の組織率が68%と非常に高く、また、全額市負担で全地区に防災士を育成、設置するなど、地域の自主防災力の向上を図っていた。

その他、姫路防災プラザを見学した。



◎産業常任委員会

とき11月12日～14日

・山口県岩国市

「観光ボランティアの取り組みについて」

年間約400万人の観光客が訪れる「錦帯橋」や「岩国城」を有する岩国市を視察した。

市行政に依存しない自立型の観光ボランティアガイドの取り組みについて、現地を視察した。



・山口県宇部市

「産業観光について」

古くから炭鉱で発展してきた宇部市において、産業観光を視察。宇部観光コンベンション協会のスタッフから宇部興産(株)内の工場見学と周辺都市の文化遺産をめぐる産業観光ツアーが軌道にのるなど、官民連携による

まちづくりについて、現地視察を交え説明をいただいた。



◎民生文教常任委員会

とき11月18日～20日

・宮崎県日南市

「住民参加型の国保ヘルスアップ事業を初めとする健康づくりについて」

地域住民がリーダーとなって指導する住民参加型の保健健康事業を行う日南市の取り組みを視察した。

人材育成を中心とした取り組みで市のスタッフ力を強化したことにより、住民の自己管理能力の向上や生きがいの発見、教室の参加者が地域のリーダーとして活動するなど、住民の健康意識に変化があったこと。

また、右肩上がりの医療費が横ばいに転じる効果も表れてき

ており、今後の推移を期待との説明があった。

「^{おび}肥重要伝統的建造物群保存地区について」

昭和52年に九州で最初の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建保存地区)の選定を行った^{おび}肥地区を視察。

選定当時から住民の全面的な協力により、石垣や生垣、門など^{おび}肥藩城下町の町並みを残し、現在においてもデザイン推進事業調査を行うなど継続的な取り組みを実施している。

しかし、選定後32年を経過し、地域住民の高齢化、空き家の増加、世代や所有者の交代による保存意識の低下が課題との説明があった。



県立高等学校再編整備の勉強会を開催!!

12月21日、県立高等学校再編整備に関する勉強会を開催しました。

この県立高校の再編整備計画は、少子化による生徒数の減少による適正規模の確保、高い進学志向や産業構造・就業構造の急激な変化などに対応するため、全体的な県立高校の見直しを図るもので、福井県教育委員会が平成21年3月に策定したもので

若狭地区関係では、職業系専門学科については、総合産業高校を設置することとし、進学を志望する普通系高校との二別化を図るとするもので若狭高校、若狭東高校、小浜水産高校（以下「若狭3校」）も対象となっております。

勉強会には、若狭3校と関係の深い若狭町、おおい町、高浜町の各議会からも約50名が出席



し、広部福井県教育長や県教育委員会の職員から趣旨の説明や将来の生徒数の推移など詳細にわたり説明を受けました。

出席者からは、生徒減少による再編整備はやむを得ないとするものの、嶺南をはじめ県内で水産業が営まれていた状況も踏まえ、将来の人材育成に影響を与えないよう配慮する意見や、伝統ある小浜水産高校を何らかの形で存続してほしいとする意見などがありました。

なお、福井県教育委員会では、本年3月までに若狭3校のあり方について実施計画を策定するとしています。

市議会としては、高校教育は小浜市の将来を担う人材を育成する上で重要であることから、再編整備にあたっては子どもたちにとって最良の教育環境が確保されるよう望んでいます。



急に慌ただしくなってきた県立高校再編問題。

若狭地区では、早くに小浜水産高校のあり方をめぐって取りざたされましたが、それ以降大きな動きはありませんでした。

しかし、大野・勝山の奥越地区では、同計画に基づき平成23年度春には奥越4校を3校に再編することが決定しています。

若狭3校を取り巻く状況をデータを交えて説明します。

学校名	分類	定員	志望者	志望倍率
若狭	普通系	266	334	1.26
	商業系	74	83	1.12
	合計	340	417	1.23
若狭東	普通系	62	44	0.71
	農業系	72	68	0.94
	工業系	66	45	0.68
	合計	200	157	0.79
小浜水産	水産系	90	48	0.53

若狭3校の状況は?

22年度の若狭3校への定員や志望状況(左上表)を見てみると、若狭高校を除き、定員割れとなっている状況にあります。

※志望状況は今後変更があります。

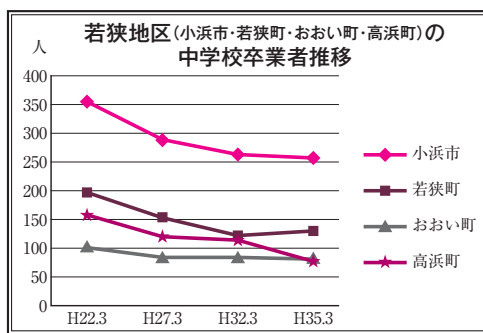
具体的な影響は?

本市では、多くの生徒が進学先を若狭3校としているのが現状で再編の影響は少なくないと考えられます。

計画に基づくと普通系の若狭高校と職業系の総合産業高校との2校体制が濃厚となっています。

そうになると、県内唯一の水産系学科を有し、歴史ある小浜水産高校が単独校として存続することは非常に難しい状況になってきているようです。

特に、最近ではエチゼンクラゲの食品化やアマモ生育による環境回復運動など、特色と専門性を生かし積極的に活動をしているだけに、同校の専門性をどのような形で残していくのか、地元として今後の行方を注視していく必要があります。



(若狭地区高等教育懇談会資料より抜粋)

将来の若狭地区の中学卒業生数の推移(右グラフ)をみてみると、ここ10年間で小浜市では1000人以上減少するとされています。



特色ある教育活動が注目されている
小浜水産高校

不定期掲載シリーズ②

議会って何???

～議会って何するの?～

それは残念だったね。でもね、そうやって君んちでも話し合いて物事を決めるでしょ。市役所でもそうなんだよ。市長だからって勝手に建物を建てたり、ルールを決めたりできないように、今必要なことなのか、あとあと問題が起こらないかなど、いろいろ議員と話合って、OKが出ないといけないんだよ。その話し合いが議会ってわけだよ。

へえー。市長でも勝手にできないんだ。じゃ、私がお母さんやお父さんのOKがないと、犬が飼えないのと同じようなものだね。

そつだねー。簡単に言つと、家族会議。みたいなものかな。

あのさー、議会、議会ってよく聞くけど、議会って何のためにあるの?

そつ考えると、議会って大切なんだね。あつ、そついえば、うちのお父さん、勝手に大きいテレビ買ってきて、まだ要らないのにお母さんに怒られていたわ。

やっぱりお金を使う時には、みんなと相談しなくちゃね。ほくも気をつけよー。

そつだね。あつ、そつとつ。君、この間、犬を飼いたいつて言つていなかったっけ? あれから、どうなった?

家族会議? お父さんやお母さんと相談するようになつて?

飼いたいつて言つたんだけど...。お母さんは、毎月の食費が増えるつて言つし、お父さんは、私がつう少し大きくなつてからじゃないと世話は無理じゃないかなつて言つし。やっぱりダメみたい。

解説 『議会の役割』

各自治体は、大きく執行機関と議事機関に分けることができます。

執行機関は、市長などを中心とした行政サービスを提供する機関を指し、議事機関とは、執行機関から提案された議案を決定する合議体の機関を指し、一般的に「議会」と呼ばれています。

その議会の大きな役割として「行政のチェック機能」が与えられています。

これは、執行機関が提案する予算案や条例案などの議案を審査し、議決する権限などのことで、議会が賛成（可決）しないと執行機関は予算や条例を定めることはできません。場合によっては議会が議案に反対（否決）したり、議案の本身を直して議決することもあります。（修正可決）

最近では、単に執行機関から提案された議案を議決するだけでなく、議会が積極的に調査し、政策的な条例を提案、可決する取り組みもみられるようになっていきます。

◆ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

皆様の市議会に対するご意見・ご質問・ご要望等を議会事務局宛てのメールでお受けすることができます。メールアドレスは下記のとおりです。

gikai-jimu@ht.city.obama.fukui.jp

◆ホームページで会議録を掲載。

小浜市のホームページで、平成13年9月定例会からの会議録をご覧になれます。

URLは、<http://www.city.obama.fukui.jp>

メニューの「**議事録・会議録**」ボタンから。

編集後記

明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひします。さて、こゝでは寅年。改めてこの「寅」の意味を調べてみると「戒断しない」「油断しない」といふことになっており、また他方では「草木が伸び始める状態を表す」とも解釈されています。

これらを含めると、いつまでも浮かれてばかりおらず、しっかりと地に足をつけ、不断の努力、取り組みで確実に成長、発展を目指すという解釈になるころころでしょうか。

議会においても、「寅年」にちなんで、本市のさらなるステップアップに向け、着実な取り組みがされるようしっかりとチェックしてまいります。

〈広報委員会〉

委員長	井上 万治郎
副委員長	宮崎 治宇蔵
委員	松崎 圭一郎
	下中 雅之
	藤田 善平
	池尾 正彦